

# 審査委員総評

## 村上 徹

村上徹建築設計事務所 主宰

今回も完成度の高い応募が数多くありました。特に上位入賞作品は、全国レベルの素晴らしい作品であり、改めてこの五県の設計技量の高さを垣間見た気がしました。

新築部門の住宅は、建てられた地域や環境などがそれぞれ異なり、様々な提案がなされ、これまで通りの採光や通風等と共に、植物、土、風景などとの関係性を改めて深めている住宅が多いと感じました。過去の入賞作品も繊密ながら、新鮮さが感じられた住宅を最優秀に選出しました。ここには普遍的とも受け取れる程の、住宅を包括した風景があります。この時代だからこそ、目に留まる魅力的な生活空間が完成しています。リフォーム部門の上位作品は、緻密な計画による

細やかな配慮がなされた設計が多く見受けられ、奇を衒わず、ライフスタイルニーズに合わせて機能的かつ明快に納まっており、好感が持てました。

大震災後、日本の建築や都市への意識や期待度は、大きく変わりつつあるように思えます。大都市では、経済合理主義から結局は抜けきれず、多くの建築、中でも特に住宅の類では、改善の方向性すら見えなくなってしまいました。インフラの老朽化も大問題です。これからの新しい理想的な住宅は、外部と呼吸が出来るような環境の中でしか成立しえないのではないかと、改めて強く感じます。地方から発信する時代なのかもしれません。入賞された皆さま、おめでとうございます。

## 宮森 洋一郎

宮森洋一郎建築設計室 主宰

年に一度の審査を続けていると、その年の傾向というものが感じられます。コンクリート打放しと白ベネキから、しっくいや板張りへという流れ、閉鎖的な空間から、周辺に開かれる空間へという傾向が見えました。住まいの内外の環境づくりが時代のテーマとなっている証しと思われる。今回特に、内部と外部の新しい関係を考えて作り出された計画に優れた作品が多かったように思います。

「ホリナンの家」は、独立した三つの蔵の外のはずの土間通路が内部空間となっています。

「O-HOUSE」は、向かい合う台形平面をずらすことで生まれる内外空間を連続させ、建築と庭が一体となった生活環境をつくり出しています。

「地表のいえ/Pit House」は、主な生活空間は地表

を掘り下げて設け、建築はその上を囲う障壁のような扱いです。内外の境界はあいまいで、内部は外部の一部のようです。

特別賞の作品にも、内外空間の連続性をテーマにしたものが多く見られました。

外で食事をすることは気持ちの良いことだし、風呂だって外の方が気持ち良い。雨や風、暑い寒いもあるので家は必要なだけけれども、ある意味で、家は仕方なく必要とされているものかもしれません。

建築に住むというくくりの中で考えると、建築の性能ばかりが気になってしまいますが、環境に住むという思いで考えれば、まだまだ建築の可能性は広がっていくのだと、改めて考えさせられました。

## 山澤 達義

テレビ朝日系「渡辺篤史の建もの探訪」番組プロデューサー

今、皆さんが手に取っているであろう今回の入賞作品集はいかがですか？もちろん私がこの原稿を書いている時点では、どんな作品集になっているかわかりません。しかし、手元に置いて時々ながめたくなるようなものになっているであろうことは容易に想像できます。それほど今回の応募作品は全体的にレベルが高かったと思います。残念ながらこの作品集には載らなかったものの中にも、各受賞作品に負けないものが多数あったことも確かです。

そんな中、私は今回、ある基準をもって審査会にのぞみました。それは「この家に自分がくつろげる場所があるかどうか」ということです。みなさんが知人宅を訪ね

たときに、「おしゃれなんだけど落ち着かないなあ」とか「よごと大変だな」とか感じてしまうことはありませんか？せっかく招待されたのに失礼だなと思いつつ、どうやって「そろそろ、おいとまします」をきりだすかのタイミングを探っている自分がいたりしませんか？皆さんのなかにも、過去このような経験をした方もいらっしゃるのではないかと思います。

逆に、「また遊びに来たいなあ」とか「気持ちよくて眠くなっちゃったなあ」という経験もあるはずですよ。そんなことを思いながら、この作品集をながめてみるのもいいかもしれません。

## 伊藤 豪朗

中国電力株式会社 執行役員 お客様サービス本部部長

今回で16回目を迎える「エコ電化住宅作品コンテスト」は、「スマートな暮らしを実現する新しい住まいのカタチ」をテーマとしましたが、それを多彩に表現した80件ものご応募をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

応募には、省エネ・省CO<sub>2</sub>化のためのさまざまな建築的・設備的配慮に加え、太陽光発電システム等の再生可能エネルギーの活用も図りつつ、居住者のライフスタイルへのこだわりをも両立させるという高度な技術に裏付けられた作品や、その土地ならではの

景観や風景に自然に溶け込むよう十分な配慮がなされた作品など、「スマートな暮らしを実現する」住まいを提供しようとする強い意志の伝わってくるものが数多く見受けられ、大変心強く感じた次第でございます。

当社では、今後も引き続き、当コンテストの開催等を通じて、お客様のスマートライフを実現すべく、暮らしの「安全・安心」や、住まいの「快適性・利便性」の向上に役立つエネルギーの効率的利用のお手伝いを積極的に進めてまいりますので、関係各位のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。